たかやま

令和３年度　第８号
発行日：R3.12.14
発行元：高山小学校
文責：校長　山中容子

師走も折り返しです。高山小学校では、毎日、様々な活動に取り組んでいます。精一杯身体を動かし、頭を回転させ、仲間を大切にしながら生活しています。大きな事故や怪我もなく、笑顔で過ごせています。学校の周りは、紅葉した葉も落ち、冬景色になりました。二学期も一週間余りとなりました。たくさんの学習活動や行事を経験し、充実した二学期になりました。地域の皆様、保護者様には、日頃よりご協力・ご支援いただいていることに心より感謝申し上げます。

たかやま大すき　高山っ子

ローソン事業完成式典（十二月七日）

今年度、学校林の整備事業として、ローソンさんの協力を得て、「学校環境緑化モデル事業」を完成し、記念式典を行いました。

はじめに、校長より、どんな事業が行われたのか、また、みどりの道の教育的効果について話しました。島根県緑化推進委員会からは、この事業の意義について話され、来賓あいさつでは、ローソンポプラ石見銀山店長様より祝辞がありました。児童代表あいさつでは、六年生の森山栞さんが感謝の気持ちと今後も整備されたみどりの道で学習したり体力づくりをしていきたいという趣旨のあいさつをしました。式典の最後には、東京よりオンライン参加された国土緑化推進機構の沖専務理事からご挨拶がありました。その中で、「これまでこの事業をたくさんやってきたが、高山小学校のように、学校林を学習に活用し、カブトムシやギフチョウ、ミヤコアオイ、イズモコバイモなどの動植物のことが話題に出てきた学校は無かった。このことは、みなさん、ぜひ、自慢してください。」と子どもたちにエールを送ってくださいました。式典の後、みどりの道のゴール付近（校庭に降りる所）で植樹を行いました。竹林を伐採していただいた場所に、クヌギとコナラを四十本植えました。より一層、豊かな学校林になることと思います。関係の皆様に、心より感謝申し上げます。

野菜の収穫（生活科）低学年

十一月二十五日、丹精込めて育てた大根を収穫しました。坂本さんのご指導を受けながら、種を五粒植えて、育ち具合を見ながら間引きしていき、最後には立派な大根ができました。大根を抜いた瞬間の笑顔はキラキラに光っていました。そして、本日は、坂本さんを招待し、収穫祭を開催しました。一緒に、ふろふき大根を食べたり、坂本さんから焼きいもをいただいたりして、楽しい収穫祭になりました。

みどりの道「プレート」（全学年）

十二月二日、ロング昼休みに、各たてわり班で、植物名を確認しながらプレート付けをしました。これまで三十年間、育った木々は、大きくなっており、針金が食い込んでいるものもありましたので、少し緩めに銅線で結び付けました。

あらかじめ、坂本さんと確認した番号を画用紙で付けていたので、「あった！これだよ。」と班のみんなで回りを囲んで嬉しそうに付けていました。

かしこくすすんで学ぶ　高山っ子

浄水場・三瓶ダム見学（中学年）

十一月三日、中学年は、浄水場と三瓶ダムへ見学に行きました。施設内部のさまざまな装置や実際に水がきれいになっていく様子を見せていただきました。また、三瓶ダムでは、これまでの歴史やダムの役割について詳しく説明していただきました。実際の施設の様子に驚くと共に、自分たちの暮らしが守られていることを実感しました。

○浄水場では、水がきれいになるまでのことを勉強しました。きゅうそくこんわ池にたまった水はきれいに見えたけど、まだ飲める水ではないと聞いてびっくりしました。

がん教育（高学年）

十一月三十日、高学年は、島根大学医学部総合医療講座の本田聡教授をお迎えし、がんという病気について教えていただきました。①どうしてがんになるのか②がんの原因③がんを防げる原因となるもの④男女差があるか⑤今、私たちにできることという内容を、とても分かりやすく説明してくださいました。特に、③の原因では、タバコを吸う、アルコール、暴飲暴食、運動不足が多いそうです。

がんは、二人に一人は発病するから、できるだけ、検診を受けてがん細胞が小さいうちに治療すれば治る病気だということを強調されました。がん細胞の発生について「細胞が増える時に、コピーミスをするから。」とズバリ、正解を答えた高山っ子がおり、先生から褒めていただきました。

検診にいくら金がかかりますか？という質問もありました。早期発見のためにも、経費の問題は重要ですね。多くの事を学ぶことができました。

銀山学習（高学年）

十一月十七日、高学年は、石見銀山学習に出かけました。午前中は、世界遺産センターでゆり盆体験やセンター内の見学をしました。ゆり盆体験というのは、採掘した銀を細かく砕いて砂状にしたものを比重を利用して銀を取り出す方法を体験します。わずか十分で体験でしたが、「腰が痛い、、、」という声も聞こえてきました。午後から、大久保間歩と釜屋間歩とその周辺の遺跡見学をしました。江戸時代と明治時代の採掘方法の違いや、銀鉱脈を掘った跡など、ガイドさんに教わりながら見学することができました。たくさん質問し、積極的に学習する姿が見られました。

やさしく思いやりのある高山っ子

「コミュニケーション力アップ集会」（生活委員会主催）

十一月十六日、学年や学級が異なる児童が共に楽しく触れ合い，交流を図ることをねらいとして右記の活動がありました。高山っ子は、課題の一つをコミュニケーション力ととらえ，その力の向上と全校及び縦割り班の交流を図るために生活委員会が企画しました。はじめの会をして、まず、コミュニケーションフルーツバスケットをしました。椅子に座る前に、言葉には出さず、ジェスチャーでお互いの誕生日を確かめながら、「誕生日順並び」で座りました。数か所、順番が前後しているところもありましたが、大部分は正解でした。その後、オニと目が合ったら立つというかなり難しいフルーツバスケットでしたが、みんな真ん中のオニに集中して動いていました。最後に、「高山っ子班対抗ピンポン玉運び」がありました。ピンポン玉を段ボールのレールを使って目的の場所まで運ぶというものでした。ピンポン玉を落とさないように力を合わせてがんばりました。最後に終わりの会をして、楽しかったひとときを振り返りました。

ペア読書（全校児童）

十二月八日、ペア読書に取り組みました。友だちに、自分のお気に入りの図書を読んであげるという素敵な活動でした。今回は、国語の学習として、たっぷりと時間をかけて、お互いにゆったりとした気持ちでペア読書ができました。

違う学年の高山っ子と読書を通じてふれ合う機会を設定し、貴重な経験になりました。

がんばった学習発表会

十一月二十七日、学習発表会がありました。各学級、学習したことを劇に仕立てて、伝えたいことをセリフや演技で表現してくれました。また、全校合奏にも挑戦しました。

☆一・二年生「サラダでげんき～高山小一・二年生バージョン」

国語で学習した「サラダでげんき」を一人一人が動物や昆虫について調べ学習をして、身体によいものを教えてくれました。最後のダンスも楽しかったです。

☆三・四年生「地球の未来を守るのは誰だ！」

中学年は、海岸清掃やエコライフチャレンジなど環境学習で学んだことをクイズや劇にして教えてくれました。

☆五・六年生「音楽劇　世界でいちばんやかましい音　～高山小スタイル～」
　これまでにないミュージカル仕立ての発表でした。身体全体で、歌や踊り、台詞で表現する姿に圧倒されました。
☆全校合奏「残酷な天使のテーゼ」
　皆様も聞きなれた曲ですね。リズムを合わせて演奏することが大変で、一生懸命練習しました。難しくても何度も練習し、弾けるようになりました。コロナ感染症拡大予防の観点から、練習の途中までは、鍵盤ハーモニカに代わるミニキーボードを使いました。心を一つに、演奏しました。

【保護者様の感想より】

ロ一、二年生のかわいらしいオープニングから始まり、最初から心が和みました。低学年の発表は各自が出来るようになった事等、堂々と発表していて素晴らしかったし、がんばっている姿が素敵でした。中学年は、学習した環境問題について、とても分かりやすく発表していたと思います。大人も改めて考えさせられました。高学年は、本当にミュージカルのような発表で、次の展開が楽しみでずっと見ていたいと思うほどの出来栄えで感動しました。ギターも良かったです。全校合奏はとても感動しました。みんなの一生懸命な姿、かっこよかったです。最後の「キメ」もバッチリ合っていて涙が出ました。最高の学習発表会でした。

、

1・2年生

3・4年生

5・6年生

残酷な天使のテーゼの合奏です

最後に、全員で、パチリ!!
やり遂げた笑顔ですね!